

平成30年度 自己評価結果等

前年度の重点目標	①教科指導の充実 ②生徒指導の充実 ③進路指導の充実 ④学校の活性化 ⑤防災・保健・相談活動の充実 ⑥情報社会への対応 ⑦職場環境の整備		
項目(担当)	重点事項	具体的方策	評価結果と課題
総務部	広報活動	HPの有効活用、中学生体験入学の内容改善	中学生体験入学は概ね好評であったが、実施時期を改善する。
	防災活動	津波防災避難訓練の実施	全校生徒による地震津波避難訓練を実施することができた。
教務部	基礎学力の向上	魅力ある授業実践 評価方法の研究	ICT機器の利用実績が向上し、工夫を凝らした授業が実践されている一方、機器が不足している。
生徒指導部	いじめ防止基本方針の検討	いじめ防止等に関する取組の検討 心のアンケートの見直し・検討	心のアンケートを記名式で実施し、早期発見につなげることができた。
	交通安全意識の向上	高校生としての交通安全に関する意識の高揚	講話や集会によって生徒の意識を啓発し、交通事故件数を減少させることができた。
進路指導部	進学指導の充実	進路目標実現を見据えた、3カ年学習プランとキャリア教育の確立	新しい入試制度に対応すべく、様々な取組の検討を継続する。進学希望の実現に向け、課題の解決を図る。
保健部	生徒の健康増進	健康観察や自己管理能力の向上	日常の健康観察により、生徒の状態を把握することができた。SCや相談室の有効活用に努めた。
	環境美化・安全の推進	生徒美化委員会の活動の活性化 安全点検の実施	生徒美化委員による清掃点検を毎月行い、生徒が主体的に環境美化に努める意識を向上させた。
生徒会部	部活動の活性化	学年会、部活動顧問との連携 部活動における安全の確保	年度当初に各部活動の方針等を1年生に伝えることができ、部活動の活性化につながった。
	生徒会活動の充実	生徒会顧問、生徒会役員、常任委員会の、三者間の協力	生徒会役員の活動は、例年にもまして自主的に行われた。
情報管理部	図書館利用の促進	図書館だより、図書館報の充実 図書委員会活動の充実	図書館だよりと図書館報の発行、読書会開催等により、読書への関心が高まるよう努めた。
	校内情報処理システム	Webページの充実 メソフィア移行への研究	メソフィアは現1年生からの本格導入に備え、一旦初期化し、次年度から稼働する予定である。
3年生	自覚と責任	身だしなみ指導	学年団で協力して指導を継続した。
	自主性と協調性	学校行事への参加とリーダーシップの育成	最上級生として部活動や学校行事への積極的に取り組み、リーダーシップを発揮した。
	進路目標の実現	目標設定と進路実現の支援	個に応じた就職指導・進学指導を通して、生徒が自身の将来のことを真剣に考えるようになった。
2年生	自覚と責任	集団の中での役割の自覚 欠席、遅刻の防止	保護者と連携を図り、情報を共有しながら根気よく指導した。
	学力の向上	授業への前向きな取組 個別学習指導	落ち着いた雰囲気の中で授業が行われているが、進路目標を持たせるなど学習意欲の喚起を図りたい。
	進路目標の設定	LTやKT、個人面談の活用	将来の進路の検討については、多くの生徒が熱心に取り組んだ。
1年生	生活や行動の自立	基本的な生活習慣の確立 部活動・ボランティア活動の推奨	例年より遅刻が少なく、落ち着いた学校生活を送ることができた。
	基礎学力の向上	基礎基本の定着と読解力の育成 家庭学習の習慣化	新大学入試に供え、思考力・表現力の向上に努めたい。
	進路研究	多様な進路研究と職業観の育成、 類型コースの選択	進路ガイダンスを月1回のペースで行い、進路意識の向上を図った。
生活文化科	生活文化科の活性化	生活文化科の行事や活動の活性化	生活文化科の様々な行事が、校外に伝わるよう広報活動を活性化した。
	教科指導の充実	検定などの基礎基本の徹底と、 社会人講師の導入などによる教科指導の充実	生徒が主体的に取り組んでいると感じられる授業展開の契機として、外部講師の導入は効果的であった。
学校関係者評価を実施する主な評価項目	①学習指導における授業の充実について ②進路指導における進路意識の向上について ③生徒指導におけるマナーの向上について ④生徒会・学校行事の充実について		